



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.2
R2.5

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

緊急事態宣言が解除され、徐々にこれまでの日常を取り戻す動きが出てきました。市内の事業所の皆様も、感染防止に務めながら、日頃の業務に取り組んでいただきたいと思います。

8050 家族について検討しました

先月もお知らせしたとおり、今年度の包括ケア会議は、個別事例検討会として開催しています。

5月の検討会では、「親が認知症で、息子が引きこもっている家庭」について支援方針を検討しました。今回の検討会には社会福祉課の職員にも参加してもらいました。

出席者からは、「本人たちは問題意識がなく、

何の訴えもない。しかし、認知症の進行による生活機能の低下や、健康状態の悪化に気づけないおそれもある。また、息子の孤立など課題は多い」等の意見が出され、「まずは別居の親族を巻き込んで協力体制を作る」という支援方針がまとめられました。

包括ケア会議（個別事例検討会）4月の経過報告

- ①まず保健師・包括職員が自宅を訪問し、情報収集。
- ②本人及び KP（キーパーソン）と面談。状態の把握。
- ③KP にサービス利用を勧める。
- ④サービスを利用した本人の状態や必要なタイミングについて、KP に明確にイメージしてもらう。
- ⑤その状態になったタイミングで再度介入する。

KP は、これまで家族にも弱みを見せる事なく、ほぼ一人で介護を担ってきた。SOS の出し方が分からなかった。サービス利用＝施設入所と固定観念があった。第3者である包括支援センターの介入で、素直に感情を吐露し、介護に対する偏見を正すことができた。本当の想いを安心して発せる環境をつくった上で、今後の方向性について自身で決めてもらうという、相談援助の基本に沿った対応ができた。



包括支援センターでは随時検討事例を募集しています。

笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871